



小悪魔の降る夜に

富秋 悠
YU TOMIAKI



Color Illustration

小悪魔の降る夜に

5

First Night

由 美

9

Second Night

マリオネット

29

Third Night

魔 性

47

Fourth Night

プレリュード

67

Fifth Night

憎 殖

83

Sixth Night

スレイヴ ハーツ

101

Seventh Night

錯 綜

119

Last Night

ラスト ナイツ

141

解説

海野やよい

166



SANWA COMICS No.32

小悪魔の降る夜に

Yama Scan

小悪魔の降る夜に







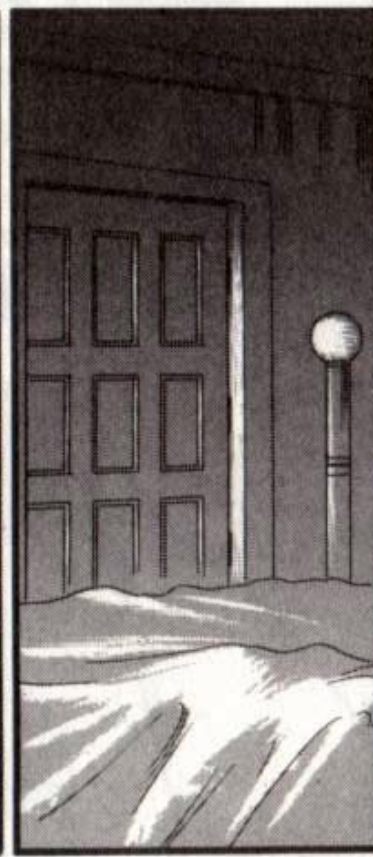




First Night

由美





小悪魔の降る夜に

人気のなくなった校舎は
その歴史の重さに
高くそびえる墓碑のよう
……



今日もあの娘は
他の娘と口づけをかわす
——わたしはただ見て
いるだけ……



昨日落した筈の
バスケースが今日
私の手に帰ってきた...



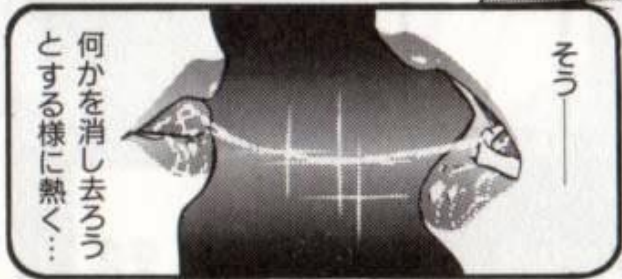
でも.....



ピッ
ッ



609



何かを消し去ろう
とする様に熱く...

スジ



.....



.....やはりあの時.....

.....

小悪魔の降る夜に



—だとしたら
彼女が写真
を抜き取ったの
かも…





はあ

はあ

カキヤッ



あっあ

はあ

ちが

はっ



せ 先生…

か…加納…
さん…

カタッ



あっ

お腹が…
痛くて…

どう…

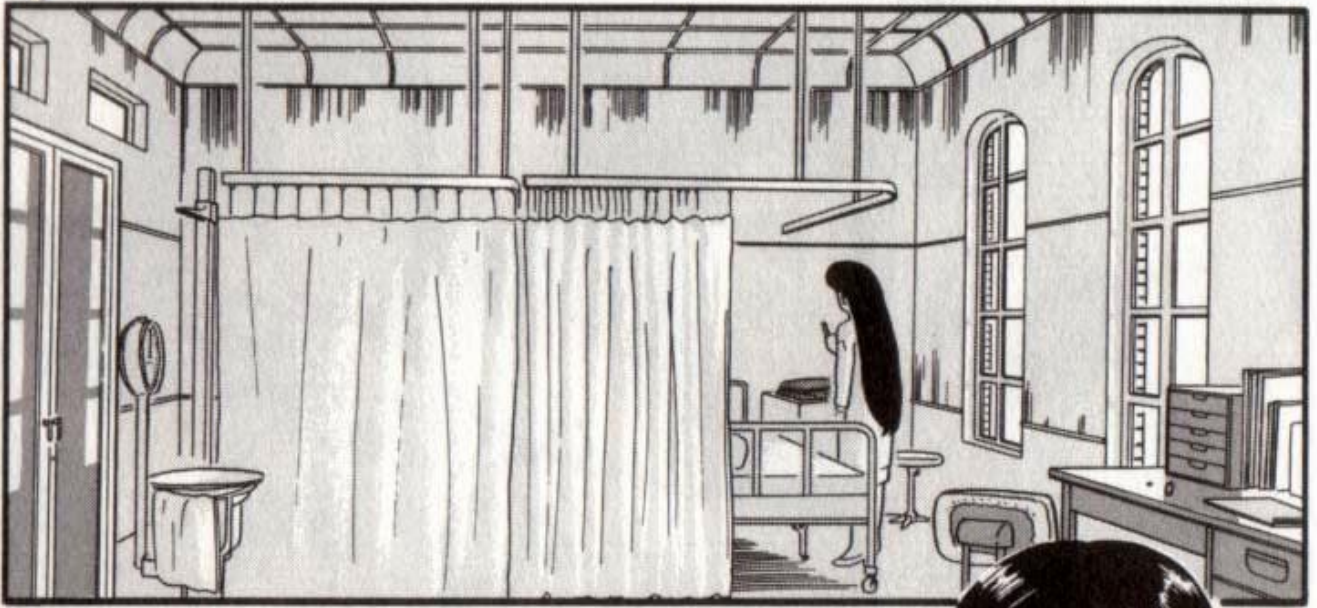
さあベッドの方へ…
だいじょうぶっ…?



下校時間は
過ぎてますよ…

ぞわ
ぞわ

小悪魔の降る夜に





加納さん!

ハハハ



もっと下
です…

このへんかし
ら…



もっと
下の方…

ここは?



わたしも
先生のこと…

好きよ



あ
ば



わたし…
可愛いでしょ
フフッ

女子



どうしよー
かなあ...

か返
して...

きゅ



.....

写真見ながら
慰さめる方が
いいのかなあ...

本物...
ほしくないん
ですか？

ムウ



なっても
いいんですよ

先生の
愛人に...



くす

くす

スツ



やめて



小悪魔の降る夜に













冷やかなベッドの中で
かわす甘い口づけに酔う……



— 終業ベル……
舞香を待つ

ブォン
ブォン



来た!!
来てくれた!!



カキカ



わたしで良ければ

ええ……



!?



あの……
加納先輩に
言われて……

ここが……苦しいの……
愛なまして下さいますか?

Second Night

マリオネット



木枯しに凍てつく
校舎の中で
交す愛も
昨夜の夢と流れ

ビュッ



オオオオオ



!!

—そして
今日の暁とともに
再びこみあげる
熱い愛にゆれる

カチカチ



わたしは 微笑を
うかべる彼女の中に
おそろしさを感じつつも
……

それにひたることに
快感をおほえる

ああく
一カ月待った
独語特別講習♡

そう あこがれの
高峰先生♡♡

どーして月に二度
だけなのかしら

無理よだって
高峰先生ホント
は保険医だし

先生と一時間
同じ部屋にいられる
だけでいいじゃない

それにしても
きれいよね
なにかかけりの
あるような

あの表情……
女のわたしでも
グッとときちやう♡

シート
来たわ♡♡
ほらあ

カキカッ



ではテキストの
28ページを右の列
から順に読んで下さい

はい

Gutenmorgen
おはようございます

今日は前半を
会話の授業に
後半を普通授業
の復習にしまし
よう



由美先生
リモコンのバイブ
入れて来た
かしら...



すこし
舞ってもらわ
先生

カク

ゴウゴウ



Religions
Jahrhundert
urch gute W
n, der diese

Irrtum
zehnjahri
-gen
nhinab, um
sietzt...er.

ゴウゴウ



ブルッ

!!



カク



ねエド
どーしたの?

さあ...

ハクラウ







いつもの
きれいな
鳴き声が聞け
ないのが残念...



きゅん

先生

あゝあゝあ

先生!?

高峰先生

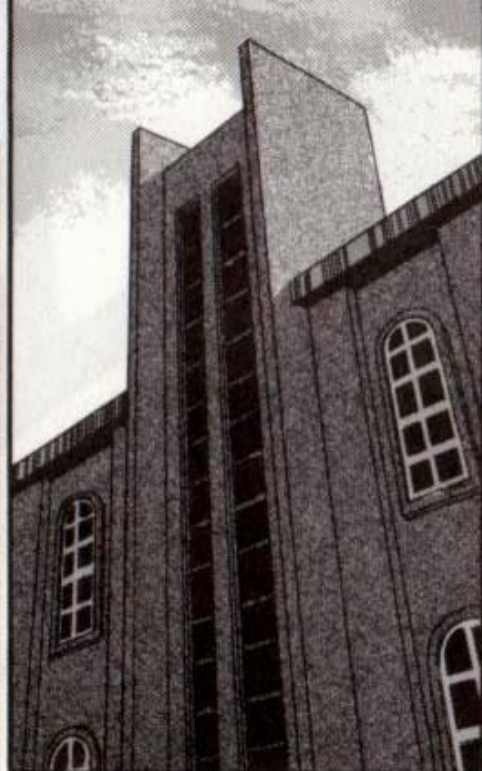
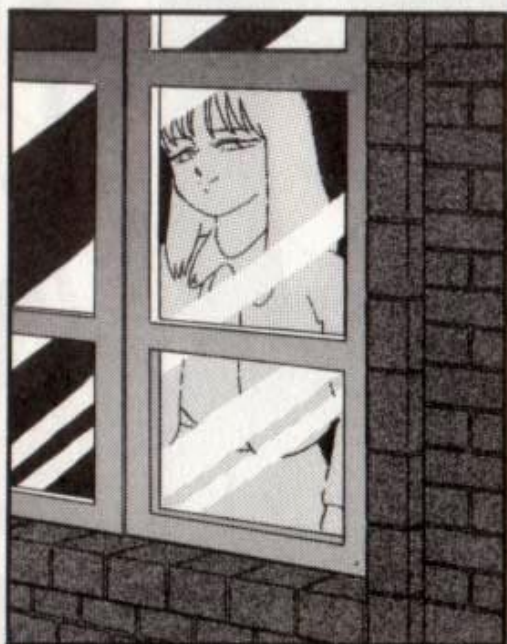
高峰先生!!

しっかり
して下さい!

先生!!



体が浮く...



気分はどお？
先生…

生徒の前で
いくつてどんな
感じかしら…

……



教室で乱れる
女教師…

すてきだったわ
あなたのショー

せわさわ

ちたふらに…

くわ

!!



私立のこんな
エリート学校の
教師が…

淫乱でしかも
同性愛者… とんだ
スキャンダルよね

くす



あはっ

くふふふ
ははっ

嫌ああっ
やめてエ



うう…
やめて…

見て…
先生

お願い…



先生の
せいよ…

こんな
なっているの



くちや

不公平よね

一人で
いっちゃんなんて







これを
あげるから…

力をぬいて

!?



どい

ぴちよ



ぶぶぶっ

きゅ

そんな太すぎる

いやああ



いやああ

やめな



先生のために
用意したのよ

気に入って
もらえたみたいね

あっ

くうっ

じじ



今スイッチを
入れてあげるワ
くらくら



天の星の輝きに
刻の流れさえ忘れる

はあ

あっ…

はあ

ふうっ



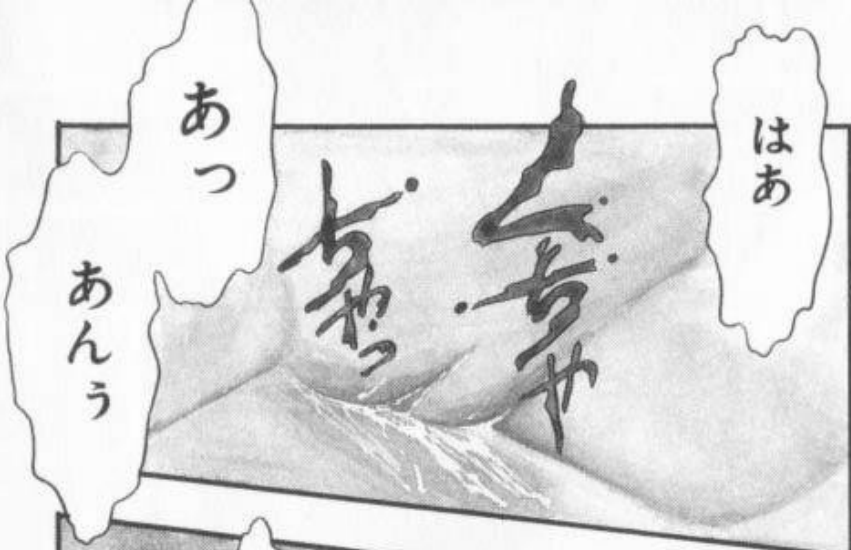
46

恐怖にも似た快感に
拒む術さえ知らない私は

今宵も彼女の望むままに
舞うマリオネットになる

引き返すことのできない
迷路を進むように

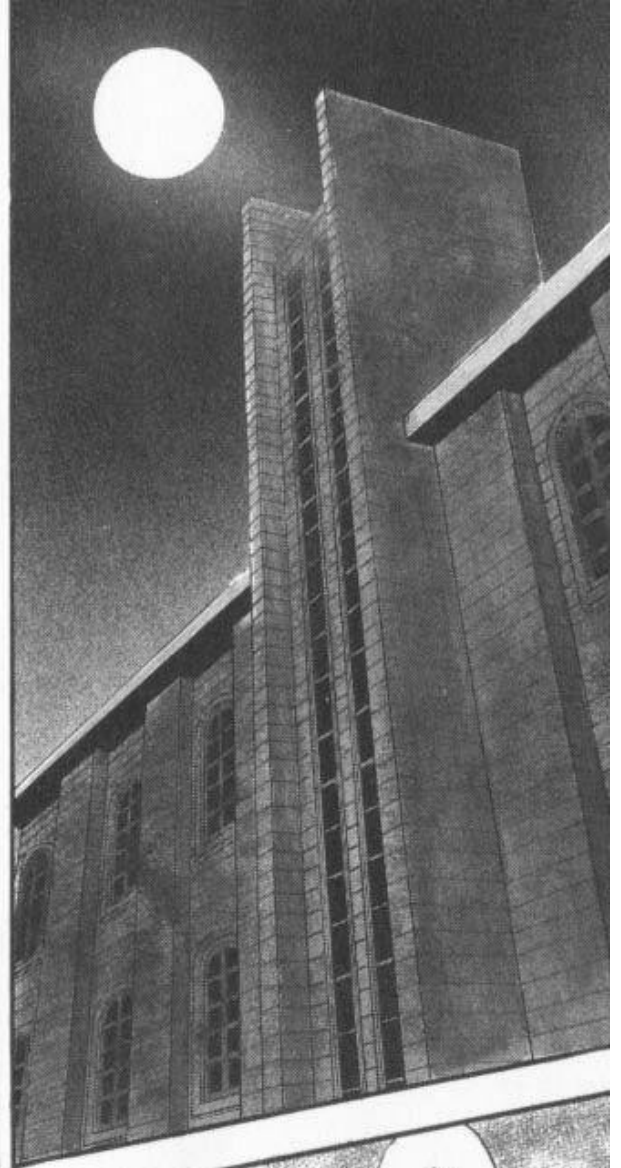
私はおちてゆく――



あつ

はあ

あんう



せ先生…
んくっ

ハア

ああつ

だめエっ

ハア
ハア

あつ
あんう



お願い…

いききたいの
あそこ…ほしいの…



和穂ちゃん

はあ

ふっ

ぎゅっ



んふ

んっ



.....

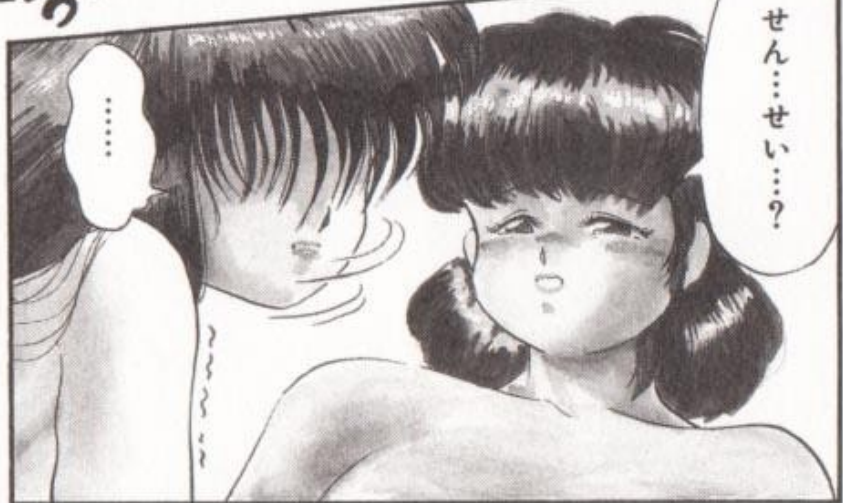


いちっ



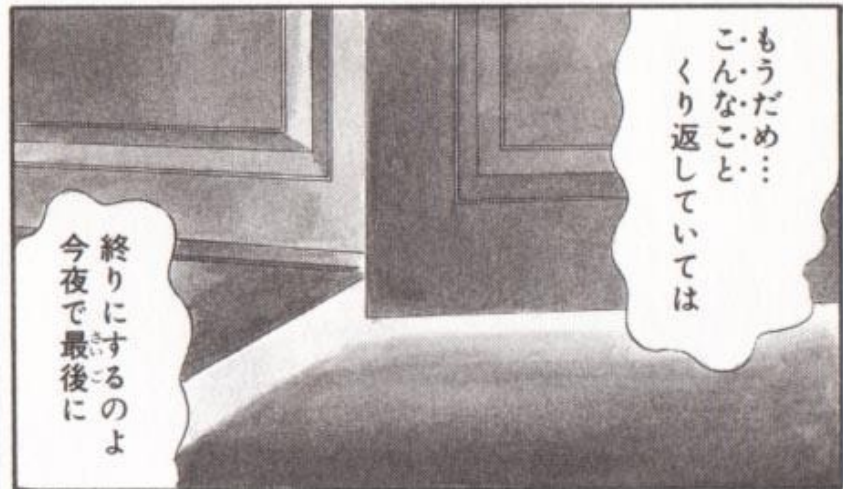
やっぱり
和徳が相手じゃ
無理のようね...

いまさら
おそいのにね
先生



せん...せい...?

.....

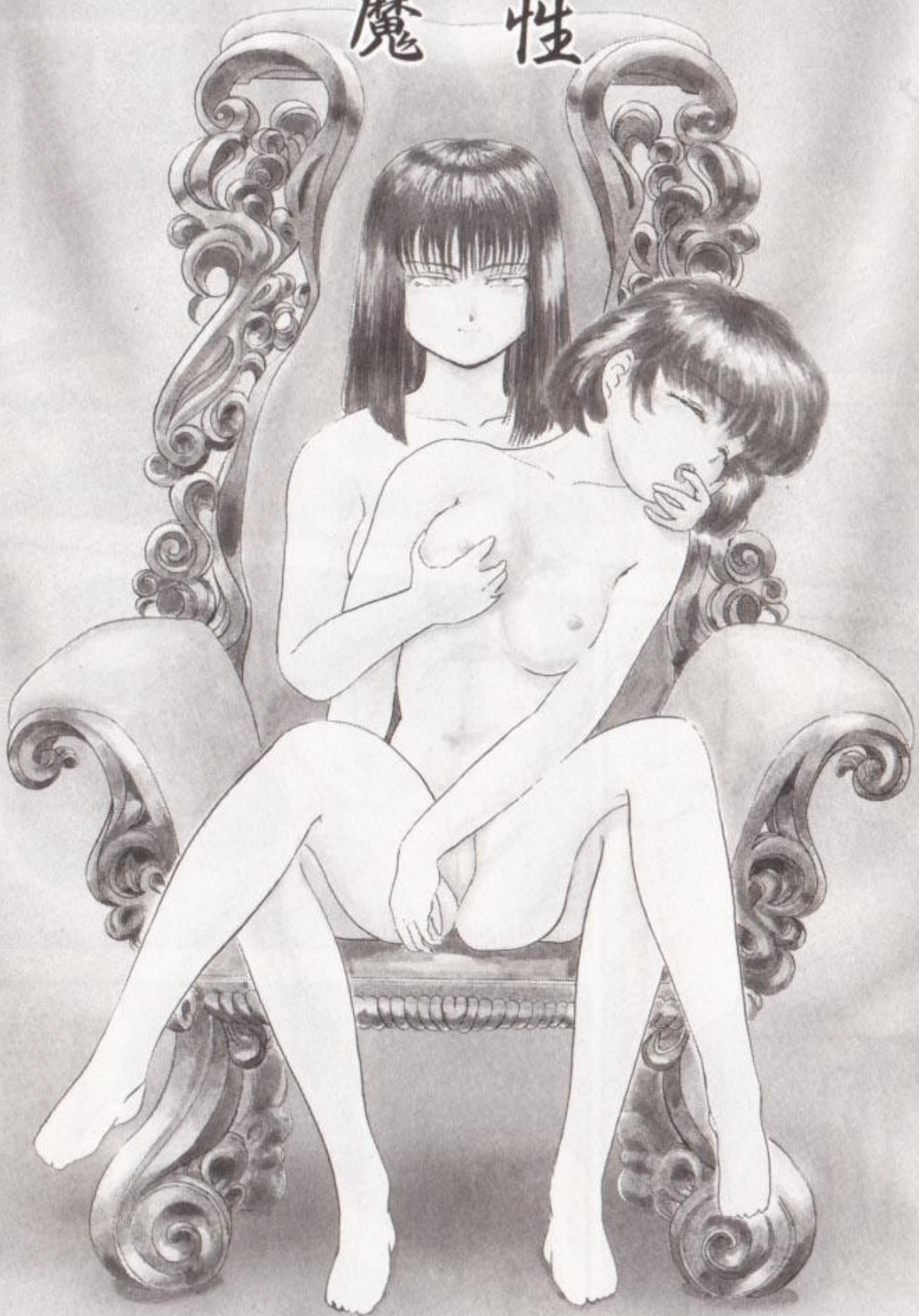


もうだめ...
こんなこと
くり返しては

終りにするのよ
今夜で最後に

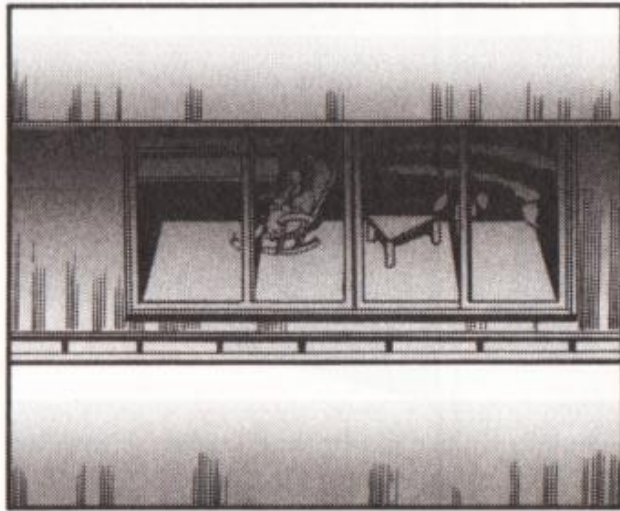
Third Night

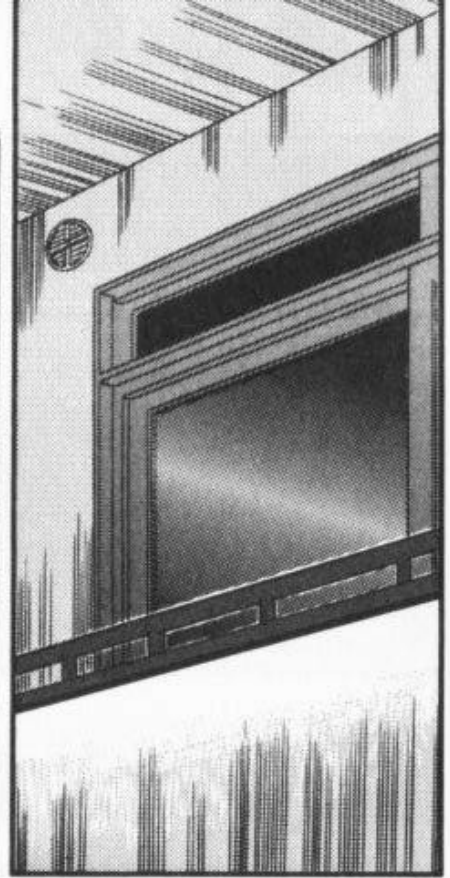
魔性



小悪魔の降る夜に

桜華女学院高等部学寮





その女：
先生なんだろ
いいのかわ

君の気にする
ことじゃないの！

あたしの言うとおり
やってくれれば
いいわ…



荒っぽいのは
きらいか

しばらく会わない
うちにうまく
なったのね



先生がいい
からな経験を
つんだのさ

んっ

ツボも知って
んたせ…
こころ



あん!!



今日は理事長の
方の相手はいい
のかよ

出張中なの
今夜は絶対
来ないわ



ん

!?



なら今日は
たっぷりと
楽しめるな

起床時間には
帰るのよ

わかった?

くち



本当
にね…



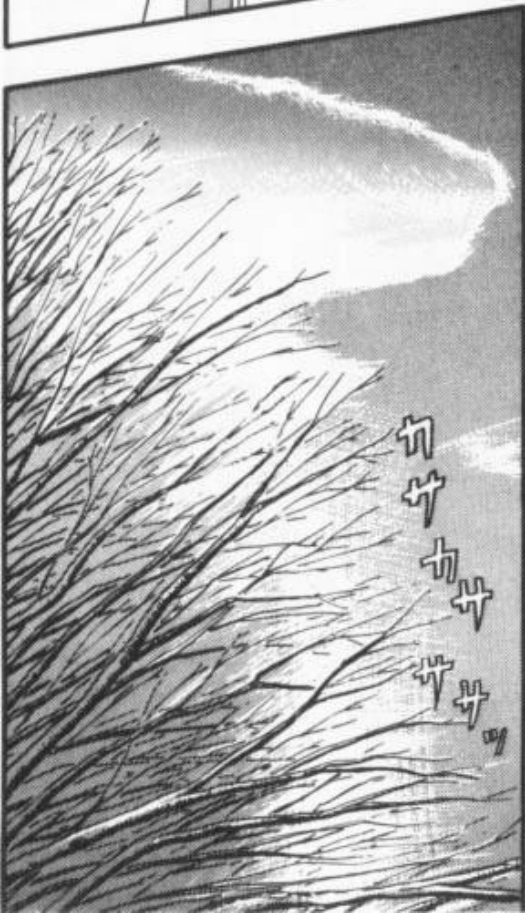
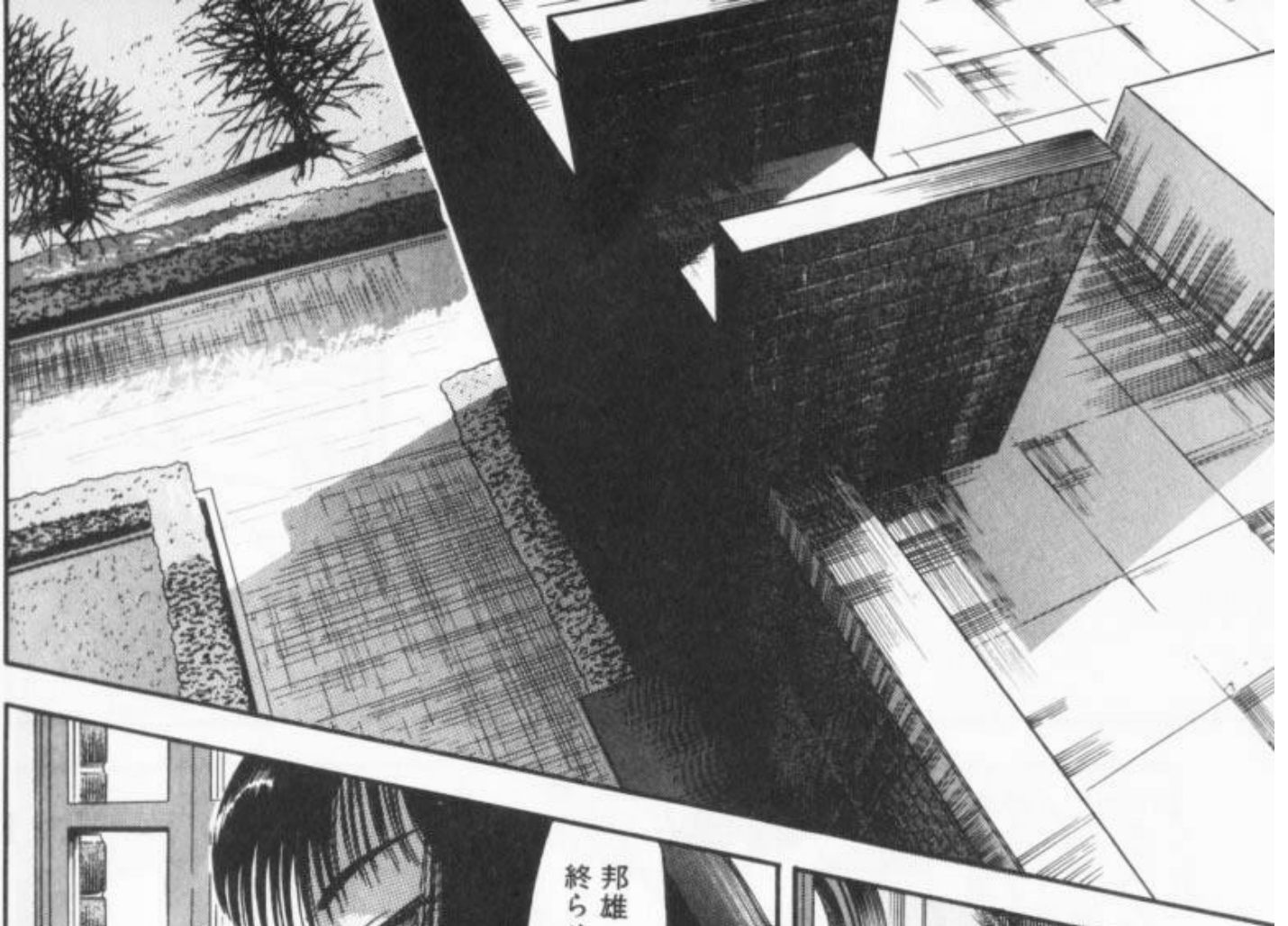
せめて今は
可愛い女で
いてほしいね

フッ



舞香は
怖い女だよ

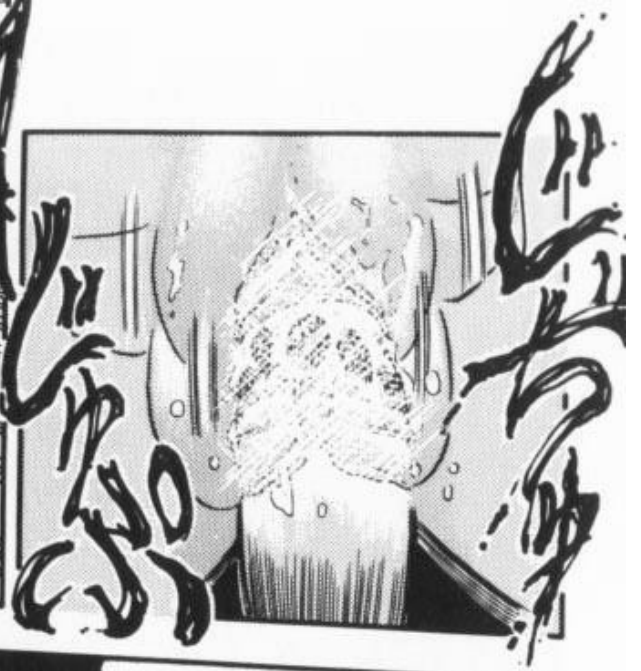
スプ
スプ
スプ





アアアア





お願い!
やめさせて
あんな...!!
ひどい!!!





無駄だったようね

和穂に何を
言ったか知らないけど

和穂……



ほら あんなに
深々と男のモノを
くわえこんで……



ご覧なさい
あのコを

あんなあッあ

かわいい顔をして
いても淫らに
腰を大きく振って
自分から求めてるワ

はう……んふ



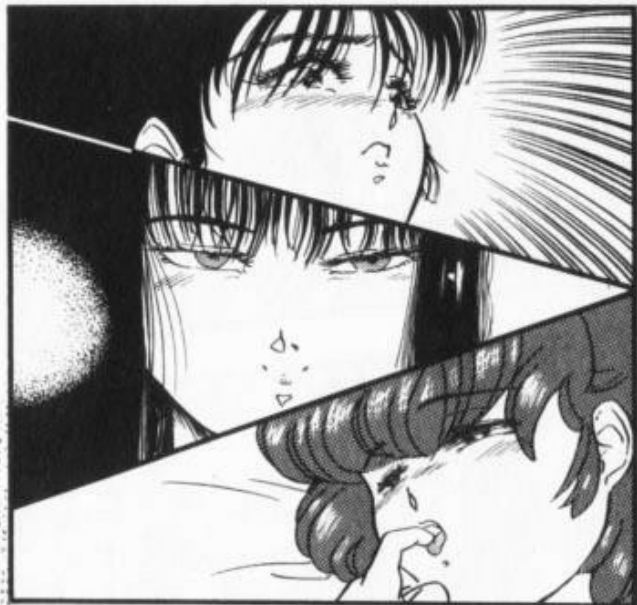
どうしたの
見てあげなさいよ

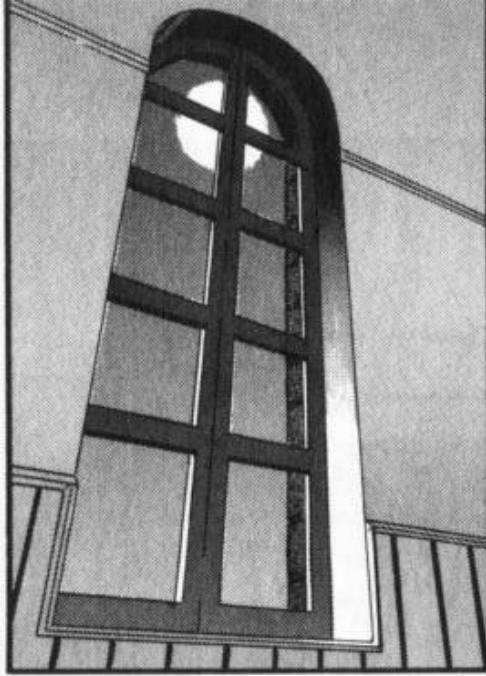
由美だってあのコの
性感を育てた一人よ
それとも嫉妬?

はあ

あくう











なかなか
具合がいいな

あっ

んっ

ああ



は
はあ
ハアウ

あはっ
んあっ

んっ



そんなに
ほしいんなら
上になれよ

あっ

グッ

んくっ

ふう

だめ…
もう…
いっちゃう…

ひひん

ネ・ネの娘じゃ
あるまいし
もっとしつかり
腰をつかえよ!

ホラア

ヒあっ

ギョッ

ほしいんだろ
なら遠慮する
なよ

んっ

んふ

そーだよ
やればできる
じゃねーか

ゆさ

ゆさ

誰が休憩しろって
言ったよ!

ゲッ

くふ

た



あひっ
ふあっ
あん
あっ
あっ
ズズズズ
ズズズズ
くす
くす

なぜ…
…舞香…

夜……
白昼は束いはずの校舎……
それは闇の塊と化し
月の明りさえとどかない

でもその中には
舞香の冷くゆらぐ
蒼い炎を感じる



この学校の理事……
そう高峰栄輝には

わたしが見た
地獄を味わってもらう



由美は好き……

でも例外はないのよ
姉さん……

プレリュード

小さいころから父のもて自由のない生き方をさせられた…だからこそ父のいない留学先のドイツで—

—彼との深い恋に落ちていった…
…そうして…
彼につきまとう影も幸福だった私には遠い世界の事だった



ただ彼のそばに
いるだけで
うれしかった…

しかし…
そんな私のことを
見逃すお父様では
なかった



「ユミ…日本に
帰るんだ…」

「たのむ
…そうしてくれ」

「どうということ?!
彼に何をしたの
中川さん!!」
「どうして
…うっとしておいて
…れないの!」

「君を返せば
僕の診療所の
負債は消える」

「もともと僕には力が
なかったんだ…
君にはすまない」と
思っている」



お父様らしいやり方だった彼の経済状態を調べあげたお父様は秘書の中川を私達のところへ送り込んだ

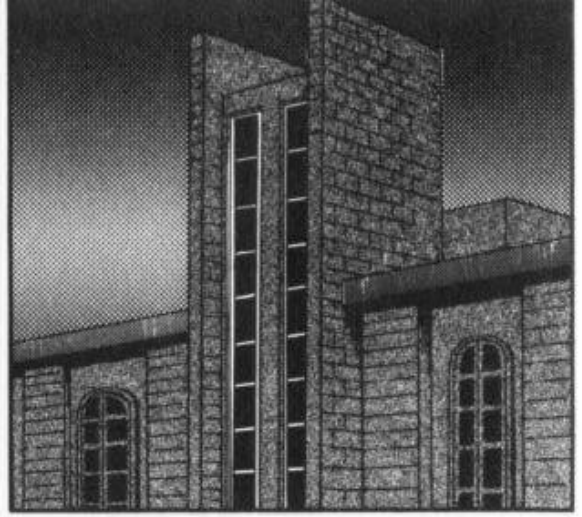
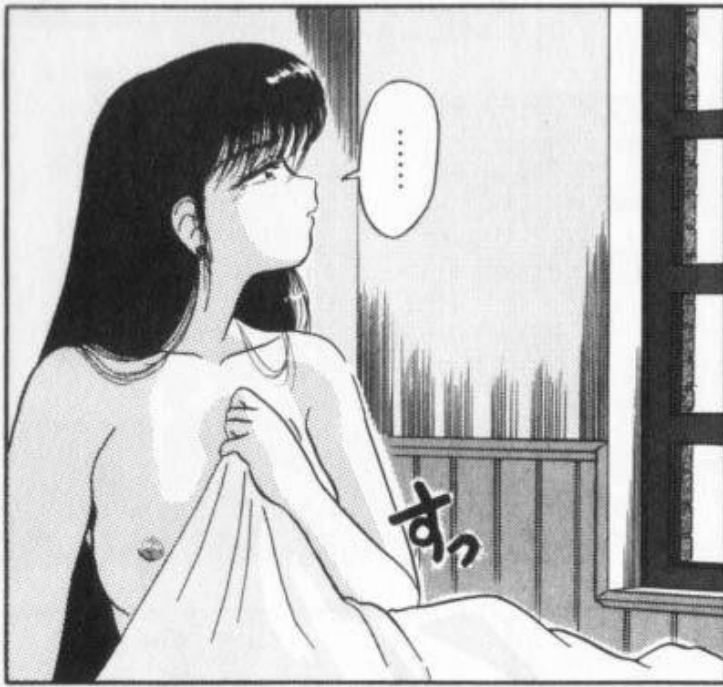
中川は彼に選択を迫った負債とともに私と暮らすかそれとも私を手放し無期限の融資を受けるかと…

Fourth Night

プレリュード



小悪魔の降る夜に



昨夜…
忘れたはずの記憶を見て



今日は朝から憂鬱な
気分にとらわれている…







わざわざ足を
運んで来て
いるんだぜ 俺は…



舞香が和穂を
自由にしていっ
て言ってるから

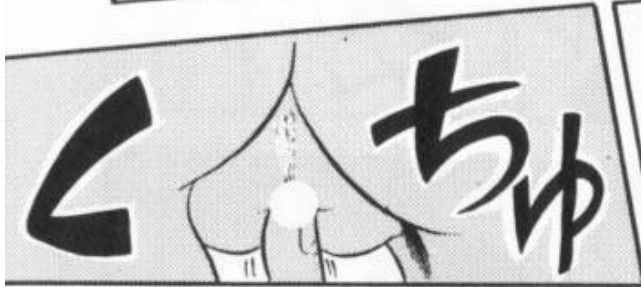
保健室



お姉さまが？



いい子だ



ちゅ



っ〜



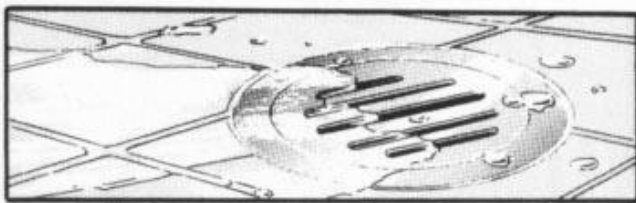
スケベなガキ
だぜしっかり濡ら
してやんの…







—HOTEL OMNCIDE(ホテル・オムニサイド)—



すっかり
きらわれた
ようだな…

いいだろオ
どうせ向こうから
はすけて見える
んだからよ



どうだい
先生よォ

和穂って娘を
使えば先生が
出て来ると
思っていたよ



いりいり

この前から先生の
体が忘れられなくてよ

いっそのこと
俺の女にならねーか



くちよ

ぬい

あふう

やあはあ



これは
シャワーの水じゃ

ないんだろォ



くちよ
くちよ

ああッ

ぐ

ふちゅ

ひちゅ

じじっ

やめてエ...





ああ…



んん…



もう一度さつき
みたいなのをたのむぜ

やっと
お目覚め
かい…

ス
ス
ク
ク



お願い…
あまり乱暴に
しないで

ただし今度は
俺の名を呼んで
もらうぜ…

あぐ

ガ
ッ

いたっ



前の男はもっと
優しかったか？

あいにく俺は
荒っぽい愛し方
しか知らないん
でなあ



どうだい
さつき先生が足を
からめてくれた
モノの味は



俺はなぜ
こんなに怒って
いるんだ？
この女に以前
男がいたから…
嫉妬!? まさか





ああっ

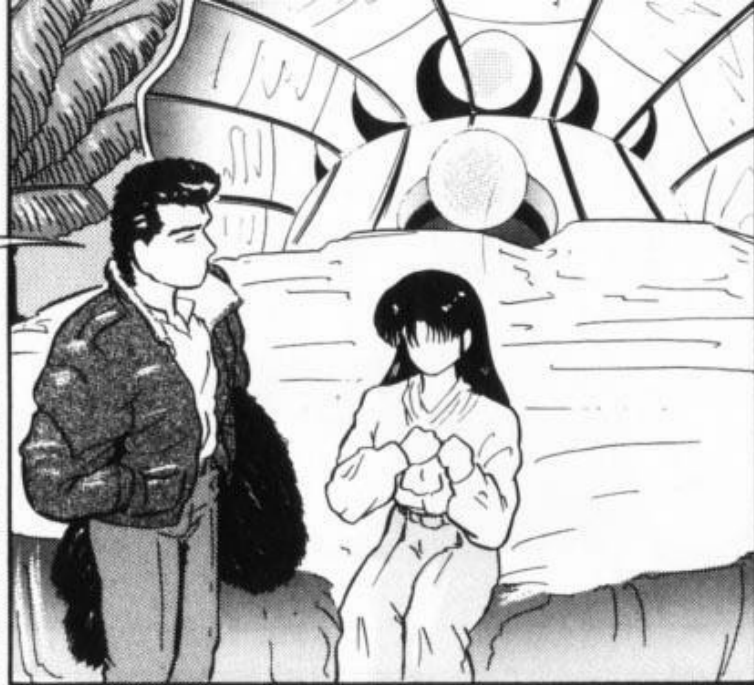
くあっ

ぐん

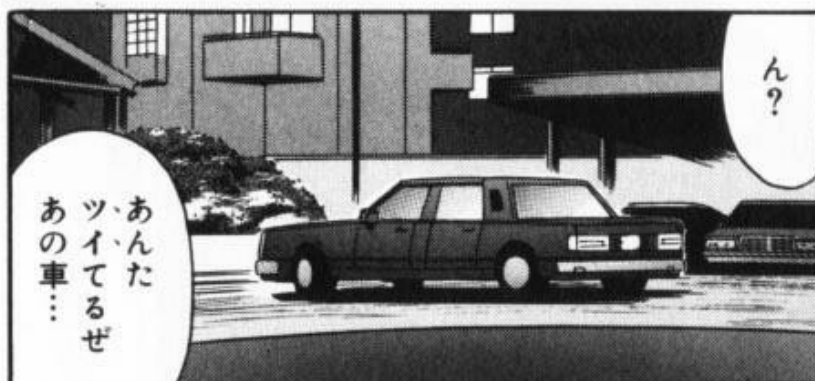
いやあ

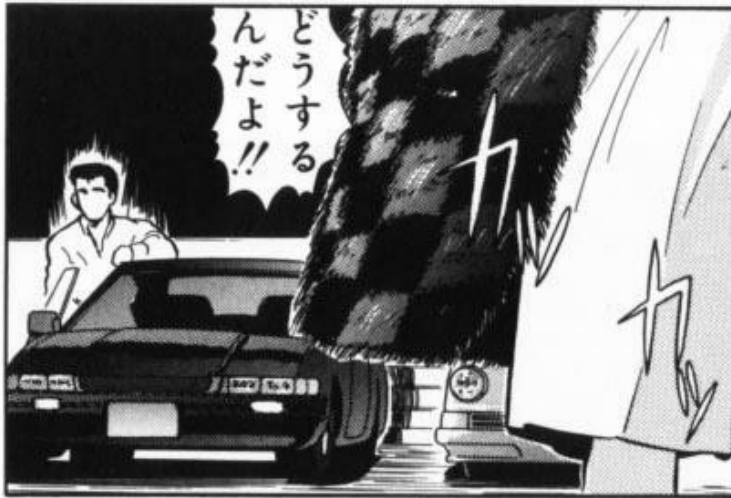
んんっ

小悪魔の降る夜に



—— メソネット パークヒルアベニュー ——







Fifth Night

増殖

83



メゾネットパークヒルアベニュー



小悪魔の降る夜に



3年前

ただいまー

おかあさん？

いないのオー

不用心なんだからあ

鍵もかけないで…

とま とま

かあ…
さん…!?

いや
そんな…



!!

おかあさん
目を開けて!!

いやあ
あたしを
一人にしないで!!

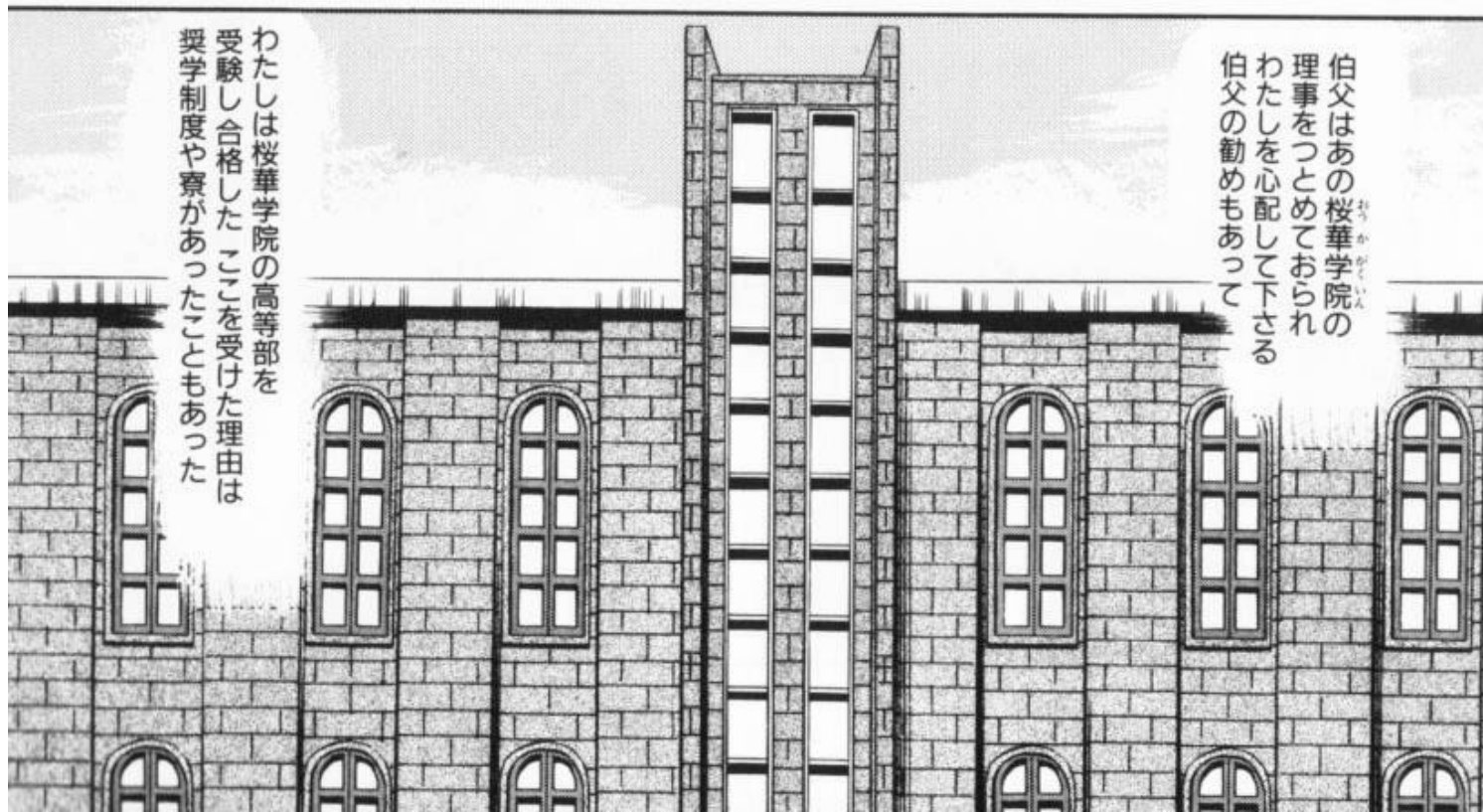
母と二人きりの生活を
してきたわたしには

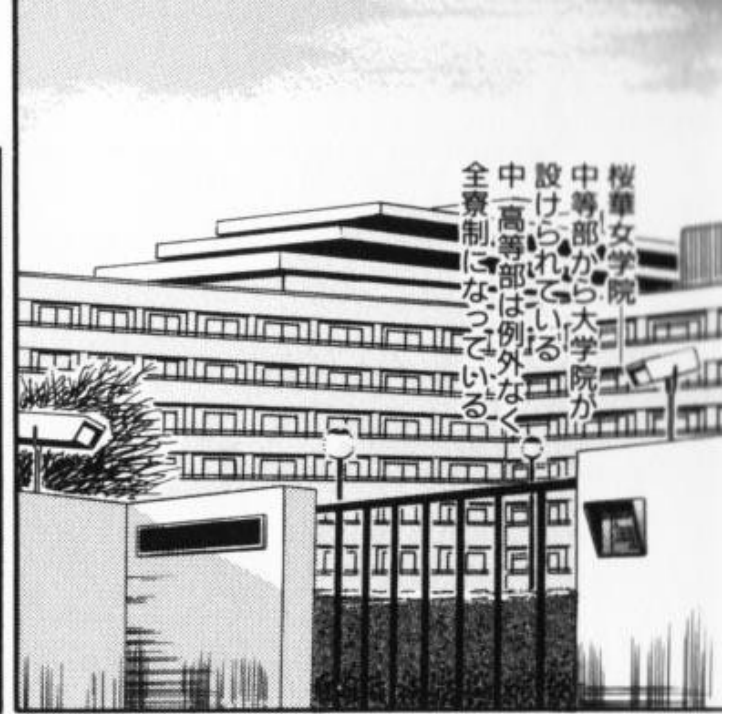
その死は
あまりにも
突然すぎた

小悪魔の降る夜に

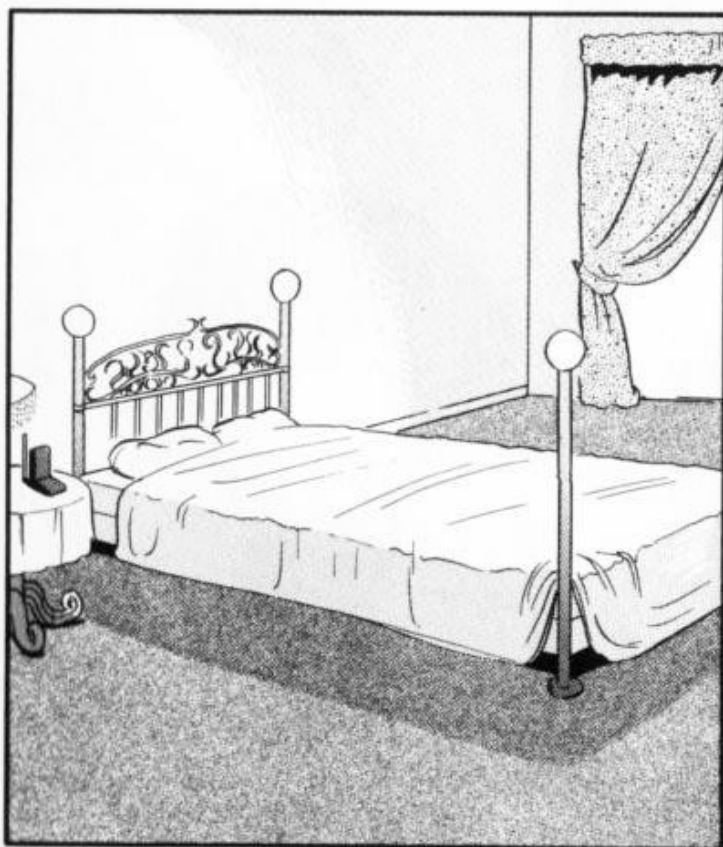


87





小悪魔の降る夜に





お伯父様!
なにを?



生活ができる
お前の母のようにな

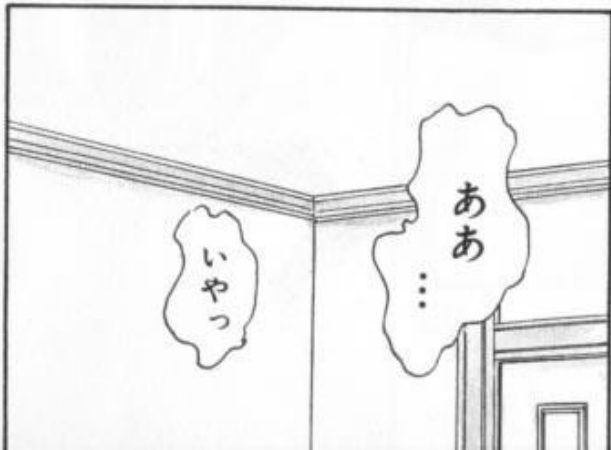
なぜこんな
ことを…!?

舞香…おまえはこの先
何の不自由もない—



そしてわたしがこの先
どうすれば良いかも

その言葉は明確に
伯父と母の関係を
語った





お前を見ていると
死んだお前の母親の
若い頃を思い出す



若い娘は
ういういしく
実に美しい…
フッフッ



ズ
ぐぐぐ…
痛

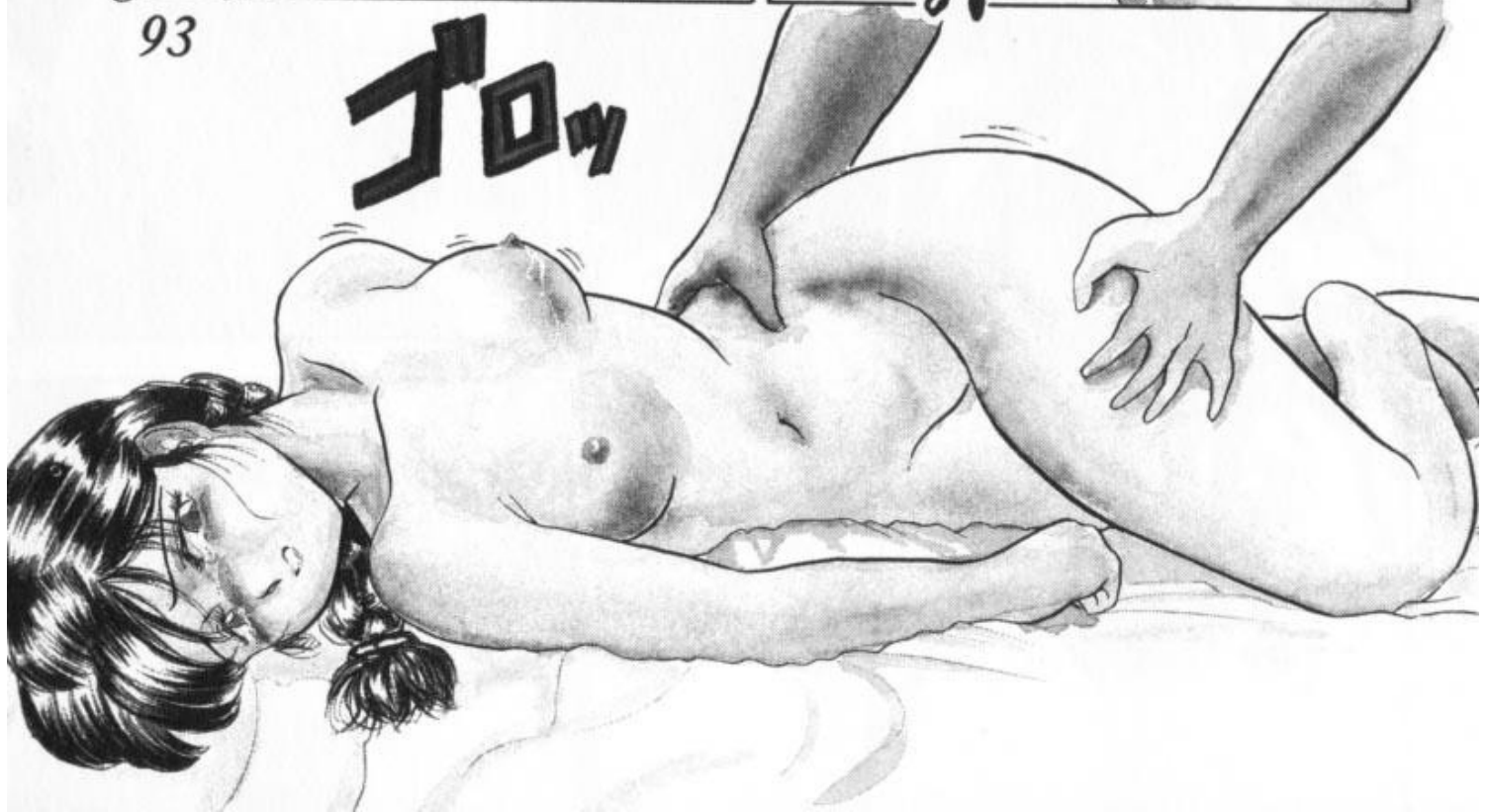




もう少しの
辛棒だ
じきにその痛みも
女の快感へと
変わってゆく

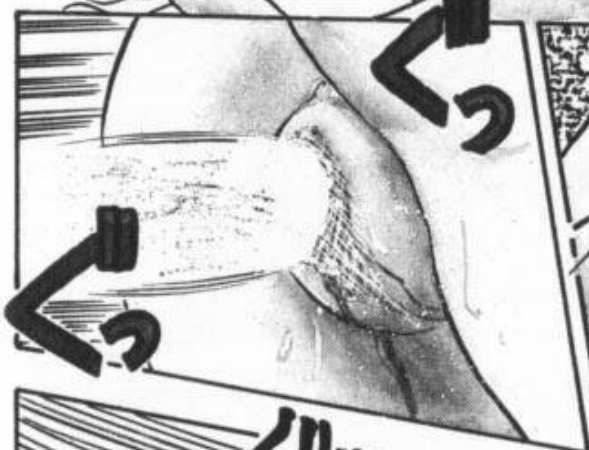


ゴロツ





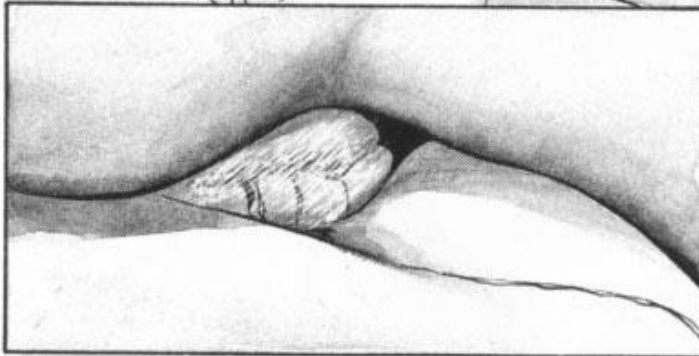






それは

苦悶と痛みからの
一瞬の逃避だった…



自分に言い聞かせた
「もう伯父にすがって生きて
いくしかないの…」と

そして止めどもなく
あふれてくる 悲しみと涙を
おさえつけるようにして

小悪魔の降る夜に



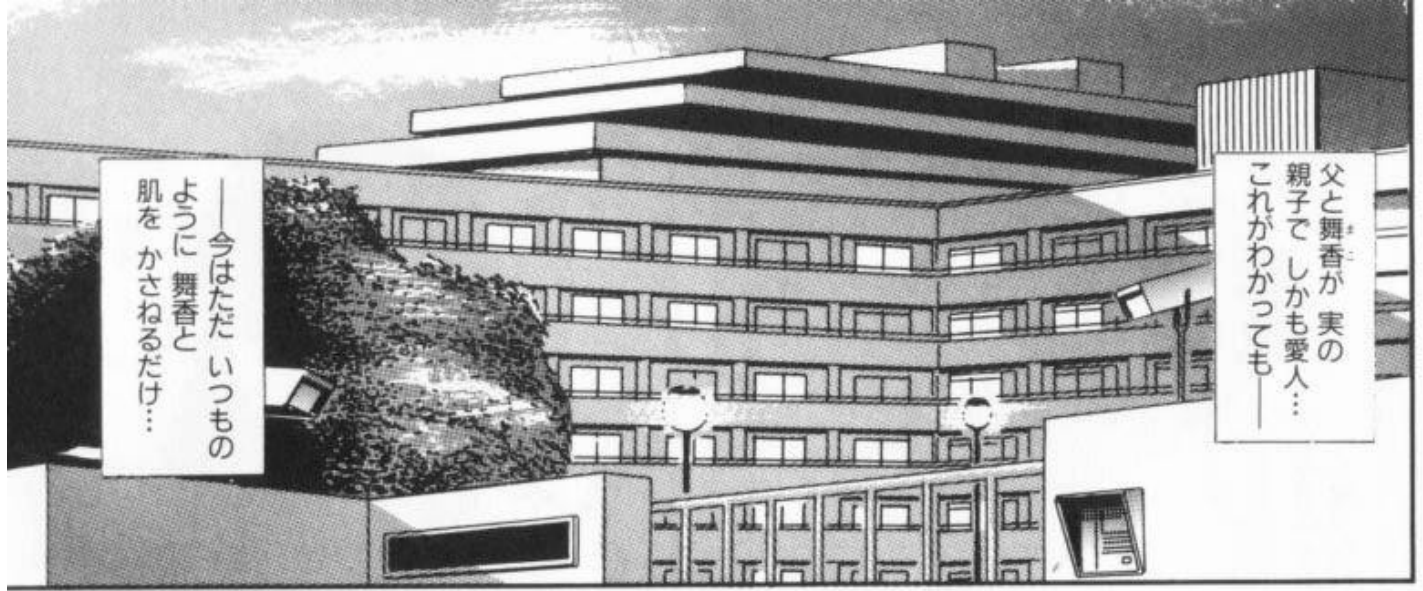


Sixth Night

スレイヴ ハーツ







父と舞香が実の
親子でしかも愛人…
これがわかっても

今はただいつもの
ように舞香と
肌をかさねるだけ…

桜華女学院高等部学寮



……



不思議？

孤児が
こんな個室に
入れて…

そんなこと…

昔ふうによえば
パトロンね

いるのよ…
このわたしにも
ビビッ



青山にも
部屋があるの…

興味ないか…
先生には

それとも
嫉妬してくれる？

くす
くす



抱きしめてあげたい…
私の妹として

でも今はそれさえ
してあげられない…



由美…

きて…



会長は…舞香様の
伯父おじいということに

舞香様は事実を
知りません



そんな…!!
だって

実の娘よ!?!
そんなばかな
ことが!!



もう知っている



本当に知らないの
かしら…!!?

いいえ…違うわ…
舞香は…



パァッ



私の父がこの子の
本当の父親である
ことに……

そして私と初めて
出会った時から
こうなることも

え!?
何?

ついさっき
お手洗いに行った
はずなのに……

!?









あなたは
変ってゆくわ

はあ
はあ

はあ

そうよ
由美：
もっとみだらに

んんん
んんん
んんん



んくっ

ぶるる

あっ

はあ

ああん

ふああ

ズズツ
ズズツ
んんん



下の口は
おいしそうに
パイプを
食べてるわ

どお由美
気持ちいい
?

いやあ...
い言わない
でエ...



いやっ

イヤイヤイヤ



遠慮しなくても
いいのよもっと
良くしてあげる



あはっ
はあ
うっく
あっ
はんっ



あうっ

ふあ

ガク

ガク



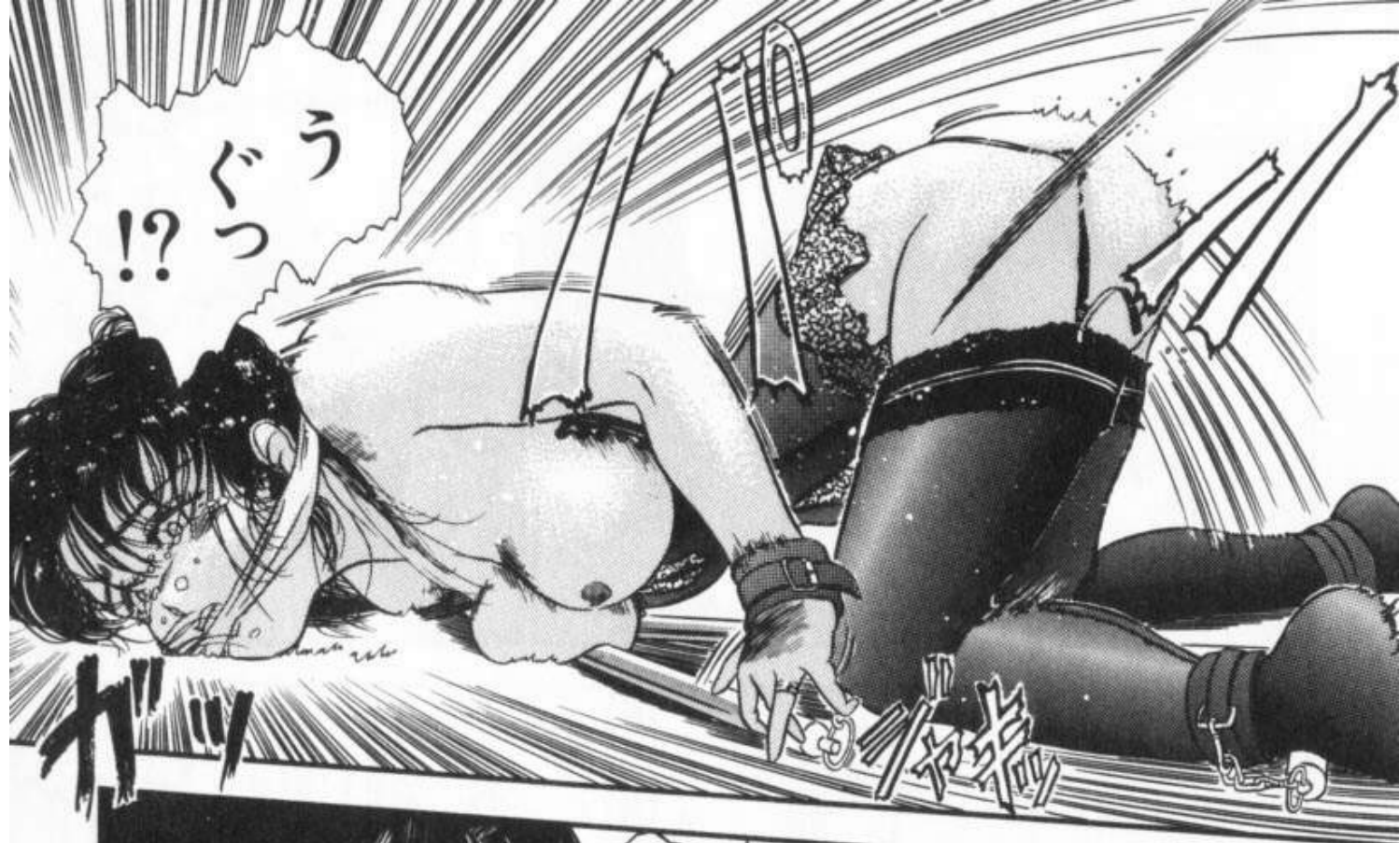


雲の上から
降りてもらおう
わよ 由美

そろそろ

キツ







わたしの言うことが
聞こえないようね



.....



さあ自分で
くわえるのよ

たっぷりと
味わうのね



さあ早く

それとももっと
ムチがほしいの
かしら

うう...

ふくつ



むう

うっ



いい子ね
そうようまく
腰を使って

スズッ

スズッ





素直な由美が一番好きよ

だからいっぱい感じて

うっ

ふー
ふー



かわいそう...
みみず脹れになってる

でも由美も
悪いのよこんな
ことわたしだって
したくないの



ひちめ



!!



うぶ!!

ぐふっ!!

115



うふ...

ふーッ

うっ

むうっ



グググ

ひっ





いたあつ!!



はあ

はあ
はあ

ぐっ



姉さん...

だめ...!!
ここで
ためらっては
だめ...



心配すること
ないワ

だってもっと
素敵になれるの
だから



舞香も私と同じ
鎖につながれている



お父様によってつけられた
強力な…権力という鎖…

そして舞香は私をここまで
変えてしまうほどに
辛い思いをしてきたのだろう…



きれいよ
由美…



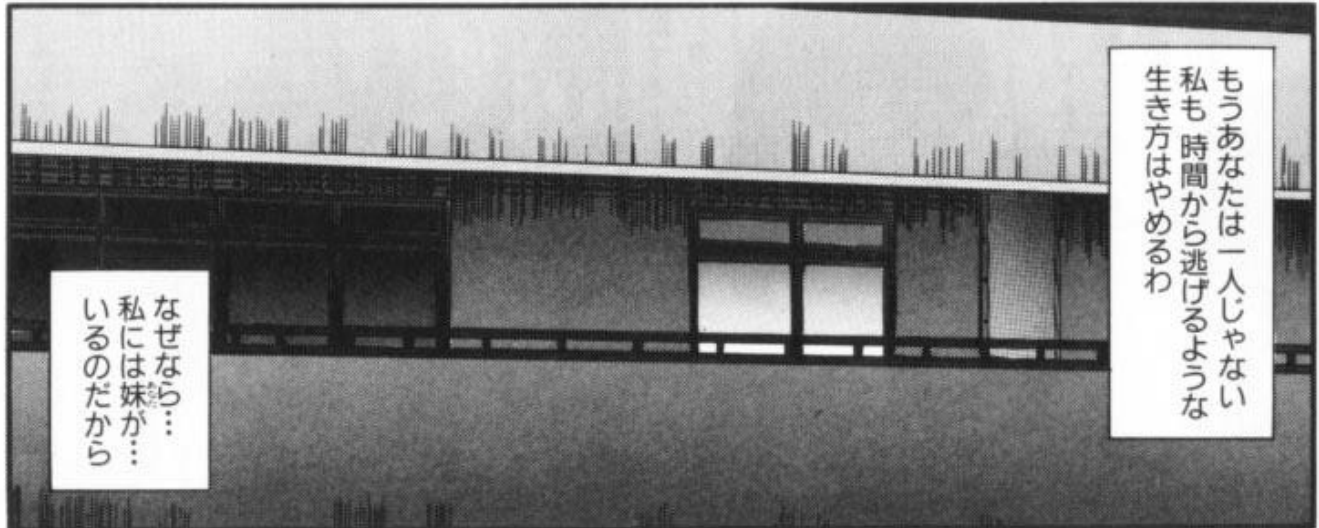
わたしと…

同じくらいに…ね



もうあなたは一人じゃない
私も時間から逃げるような
生き方はやめるわ

なぜなら…
私には妹が…
いるのだから



錯綜



わたしが学校から
帰ったら――

あの夜から一週間が
過ぎようとしていた…

だから
いい子で
まっけてね
…フフフ

――外に
出してあげる

Seventh Night

錯綜



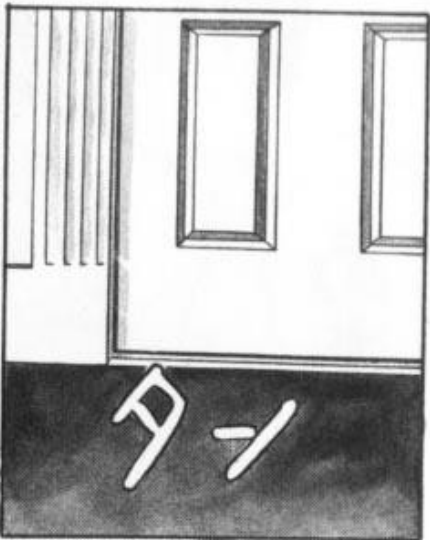


——羞恥心や自尊心を
取り上げようとしている

ふはあ
うう

はっ
ふっ

舞香は 私から自由を奪い
はすかしめることだ——



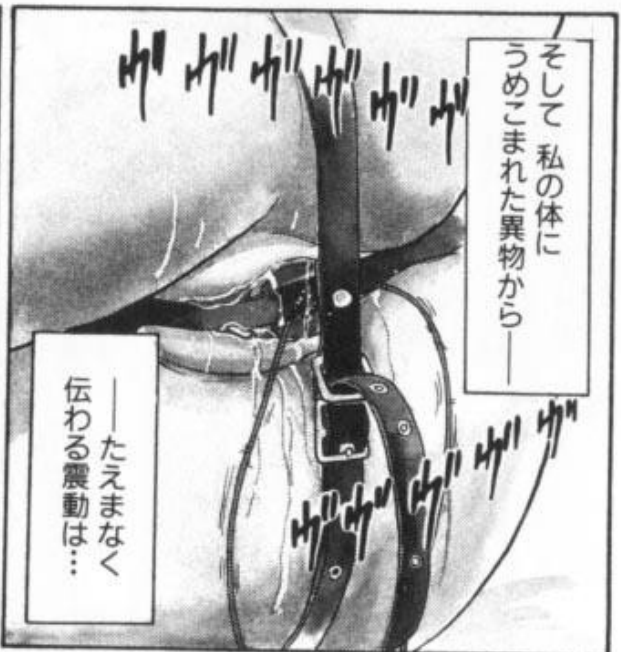
うっ
んくっ



舞香の思いのままに
私を変えるために…

ふ
くひっ
はっ
うっ

…確実に心をむしばんでいく…



——たえまなく
伝わる震動は…

そして私の体に
うめこまれた異物から——



そして昇りつめるたび…
ドイツのアルベルトと
結ばれた黒森を夢見る

アルベルト 助けて
……Arberl



毎夜の せつない思い…
彼のそばにいるだけで
ひとりてに高鳴る胸…
…父の監視の下で
自由を知らない生活をして
私にとっては すべてが
初めての経験だった…

私は留学先のドイツで
大学の臨時講師をつとめる
アルベルトとTUGテリアルと
出会った…

小悪魔の降る夜に

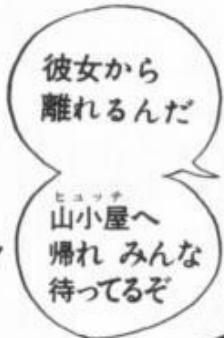
一九八五年八月
西ドイツ
シュバルツバルト
(黒森)

私は大学の友人たちとアル
とで夏休みの数日を過ごす
ためにシュバルツバルトの
小さな村へ来ていた……

ユミ 俺とつきあって
くれてもいいだろう？

ごめんなさい……ハンス





小悪魔の降る夜に



私達は愛しあっていた
——しかし彼の父親が
残した診療所と多額の
負債が彼の愛を
とざしていた

彼の良心が私への愛を
許さなかったのだが…
彼の思いは私の愛を
更に確かなものに
していくことになった



さあ これを飲んで
鎮静剤だ

落ち着いたら
ロッジまで
送ろう

もどり
たくない
みんなのいる
ロッジにも…

日本にも…
あなたのそばが
いいの…



僕には 君の好意を
うける資格がない

抱いて
下さい…
わたしを

ユミ…



いやっ!!



小悪魔の降る夜に



Ich liebe dich
(愛している)

Ach... Arbert
(ああ...アルベルト)



このまま私を
日本に
帰さないで...



Danke schön Yumi
(ありがとう ユミ)

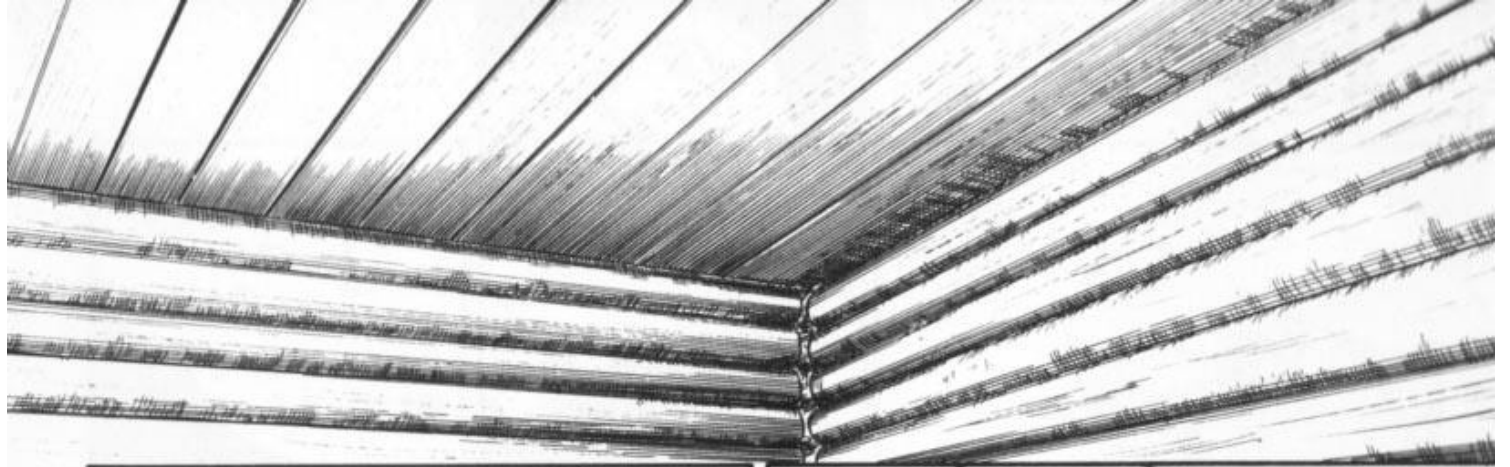


あなたの事情なら
知っています!!
でも...
でも!!

わたしはあなたを
愛しています

どんな苦勞にも
耐えます!!
...だから











ん

くふ

グ
グ
グ

ギヤッ
ギヤッ

アルベルトの優しさ
ともによろやかに

——時間*が流れ……
私は幸福の波にひたった……

その夜わたしと
アルベルトは結ばれた



多くの障害の中で…
互いの愛を深めた

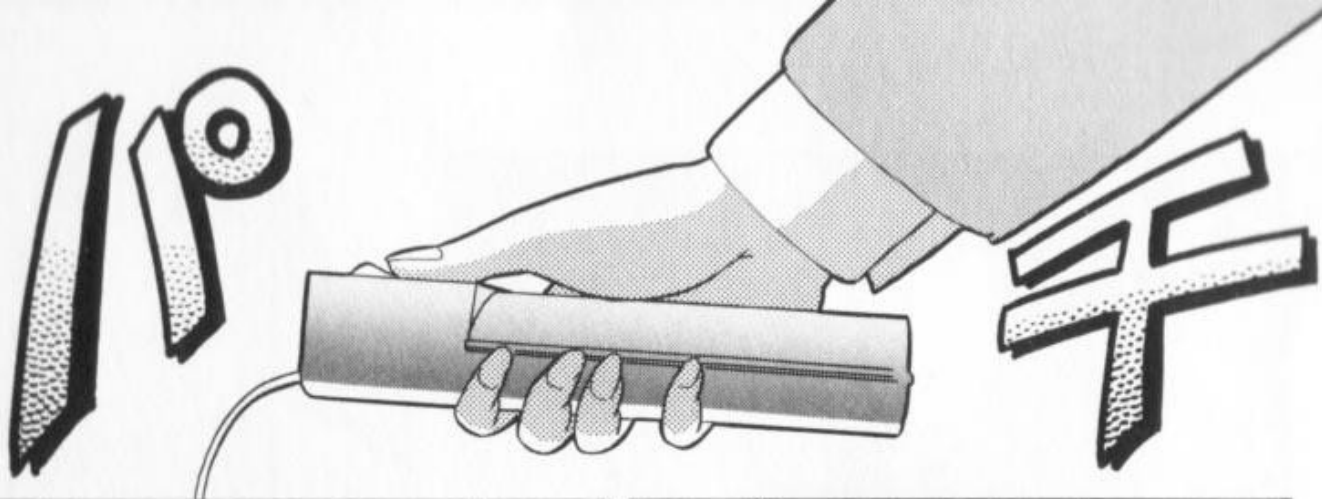
デュイスブルク

その夏私は日本へ
帰らなかった…アルベルトとの
生活に全てを忘れようと
していた…しかし…

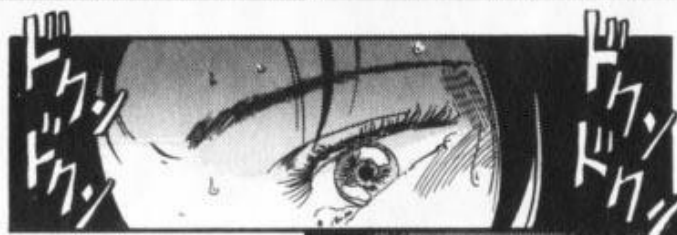


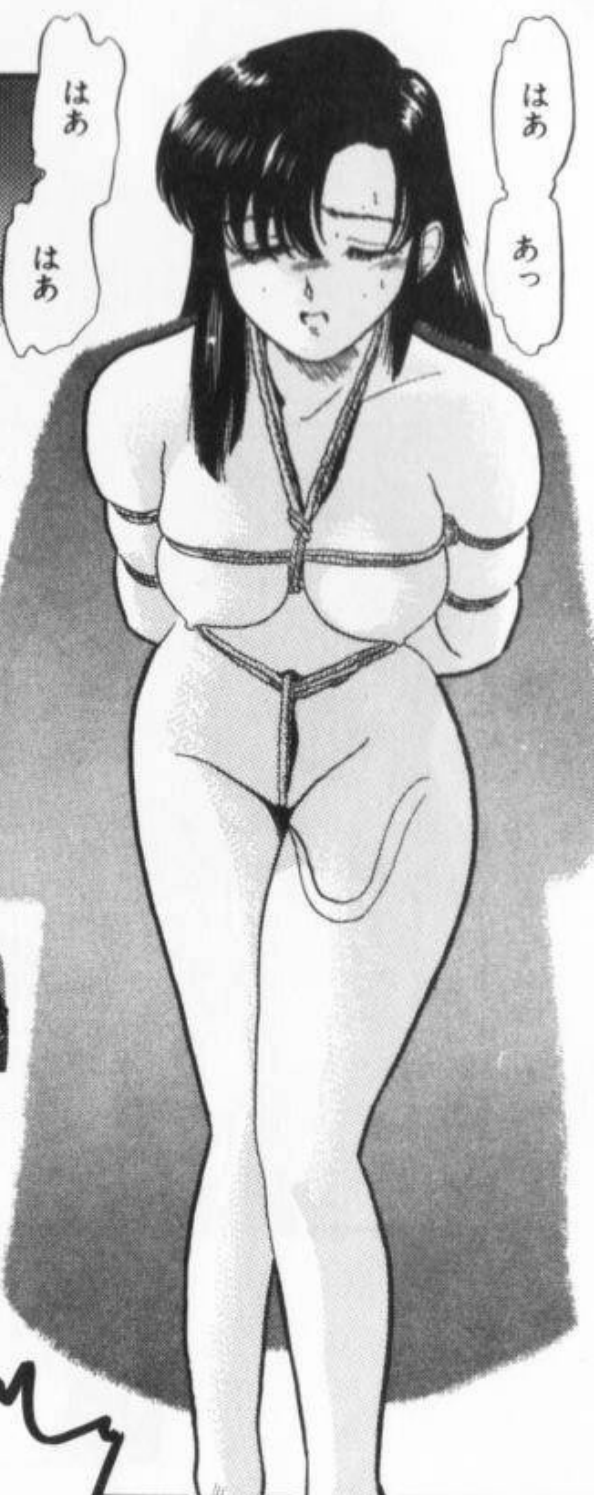






135







ひどいなあ
もっと
仲良く…ん？

いいやあ

はああ
あっ

お姉ちゃん
キレイな足だねー

ずりずり



みろやま
未呂山
さん!!



見られる…
見られる…
見られる…
…!!



お金払うからさ
ちよつとさわらせてよ
…いいだろ

いひ



さあ行きましょ
また誰かに
からまれない



キサマー
俺は上司だぞ

ほらだめ
ですよ

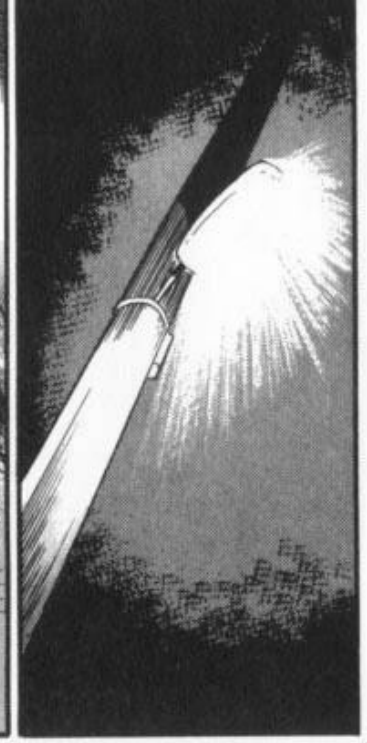
…



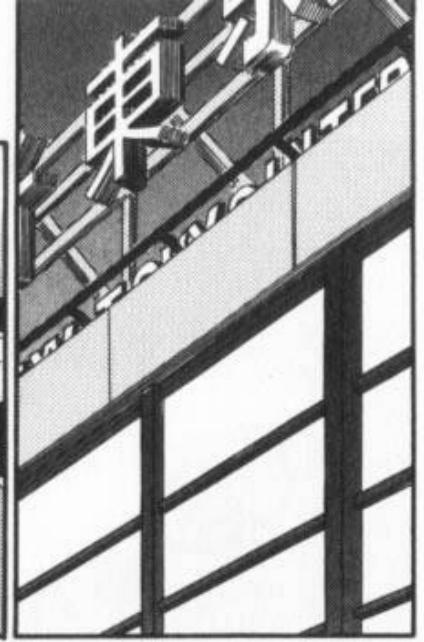
ちよつと待て
俺はあの姉ちゃんと
遊びに行くんから

ほらほら迷惑
ですよ！行きま
しょう!!

早く帰るからさ
お姉ちゃんさ
おんねんさ
おんねんさ



小悪魔の降る夜に



—新東京国際空港(成田)—



かわいいではないか
「待っている」などと…

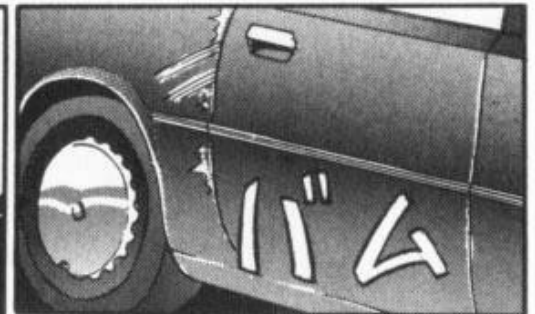
良い、このところ
いそがしかったからな



行ってくれ

はあ…

しかし…
お屋敷の方
には…?



舞香は？

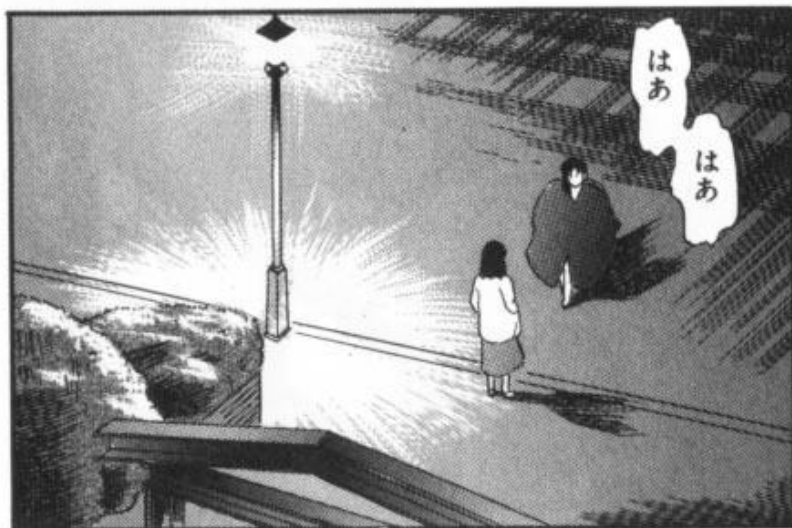
はっ

先ほど 青山の方で
お待ちになると…



会長…
あなたは間違っ
ておいでです…

舞香様のお心
一度でもお察しになった
ことが おありですか…



メソネットパークヒルアベニュー



Last Night

ラスト ナイツ



遠き貝楼の果てを
もとめ旅をしたい

今もなお心に残る爪跡に
病む胸は熱く

舞香

由美様が
一週間前より
姿を…

大井 14km
日 11km
会長…

学院の方には
連絡が
ありましたが…

だからどうだと
言うのだしよせん
由美は手の中の
内であがいて
いるにすぎん
…

ほおっておけば
良い…

いやな予感が…
舞香様はいったい
何を…!?

ごめん
なさい…
疲れちゃっ
た…

だから
お部屋で
待って
伝えて

ある人を
会わせたいのよ
…
…
そう おじ様にね
もうすべて
終りにしたいの

RRRRRR

はい中川…!!

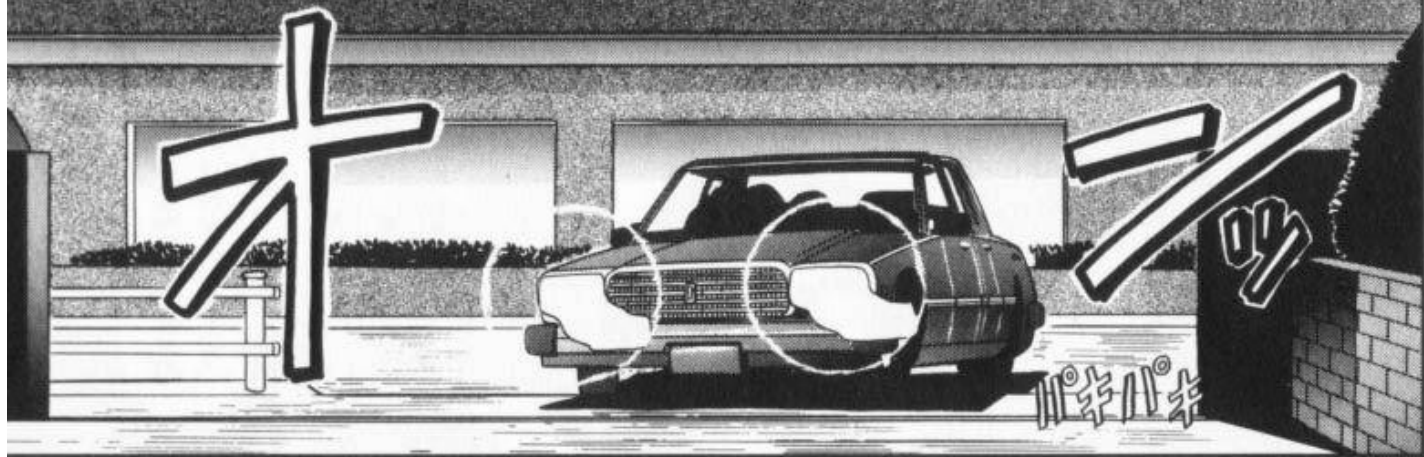
何を
おっしゃるん
ですか…!?

舞香様
…どこに
おいです

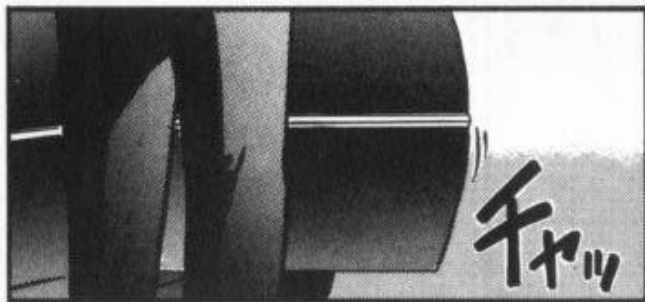
いすれ
わかるわ…
くす
くす

舞香様

ガチャン



メソネットパークヒルアベニュー





何がほしい？

ラルフ・ローレンの
イブニングドレス

よしよし…
この次行った時
手に入れてやる

そのかわり今夜は
かわいがってやる フフフ



ちよつと
待って…



くくく…
舞香
じらすでない



ほお



すてきな
「おもちゃ」を
用意したのよ

急いじゃだめ
今日はおじ様
のために





わたし同様あなたの望む姿の女ですもの

たつぷりと味わうといいワ



クククッ
クックックッ
この胸の張りますます
気に入ったぞ

むうっ

んんっ



逃げるでない

いやあ!!

ぬうっ

うう



くあっ



舞香…!!
あなたはいつたい
何を…!?

このままお父様に
犯されろ
というの…!?



え!?



グツ

キヤツ

グツ



あつ

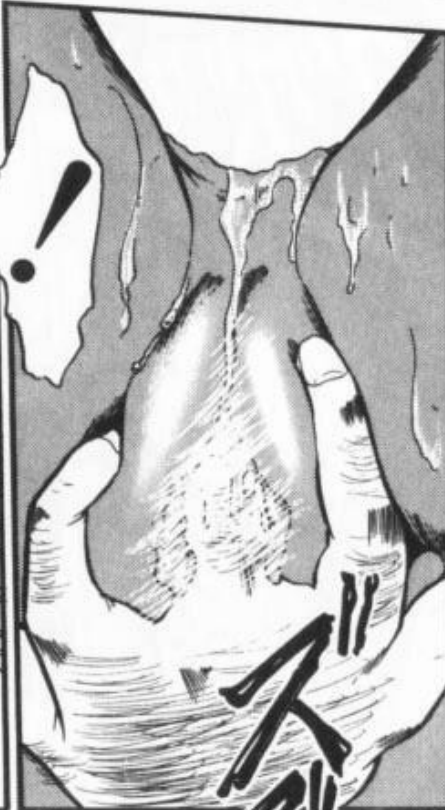


ずるずる



こんなにヨダレ
を流しおって

ふ!!









ムアアッ

クッ

クッ

クッ



うふふふふ…
こうして見ると
男なんて本当に
おろかなものね…

何!?



フッ



ハーツ

ハーツ



高価な服や
広い部屋なんて
本当はほしくなかったわ
お母さんやわたしに
優しいおじ様で
いてほしかったのに…

なのに欲望を
みたすためなら
自分の娘にだって
手をかけて…
それだけじゃないわ
自由をうばわれた
みじめな姿にして
楽しそうに
それをながめる…



!



気がつかなかった?
彼女のこと…
嫉妬に狂い
あなたの力で
縛りつけた女…



由美!!

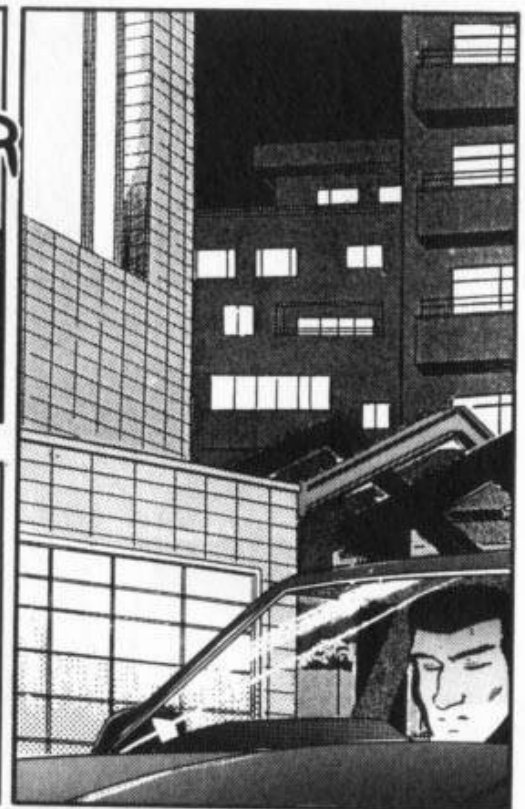


舞香オ!!

フワ



ゆ 由美だと?



どうだったかしら
二人目の娘の味は…

もったも人の心を
持たないあなたには
ただの女でしか
なかったかもね…

舞香…
お前…

ええ…
知ってたわ

あなたが父親である
ことも 母さんが
生きていた時から
あたしに目をつけて
いたことも

私への復讐と
云う訳か…
フツ

まったく恐しい
娘よ…

やはり
気づいていた…

ああ…
…舞香…

そうよ…
あなたがそう
しむけたのよ

あなたは由美を
許していなかったわ
彼をあんなみじめな
別れ方をさせても

そのやり場のない
怒りをあたしで
はらそうとしたのよ



たしかにな私はまだ
由美を許しておらん
正統な血を引く
私が高峰の家にとこの
馬の骨ともつかん
男を息子と呼べるか!!



思い上げるなよ

舞香、妾の子が
幸福になれるとでも
思ったかっ、フッフ
私の力なしに...



本当に愛い奴よ
舞香...



それを...何を血迷った
かこの私をおとし入れ
由美を抱かせるとは

男に生まれていたらなら
たとえ妾の子でも
迷わず私の後継者に
しただろう

.....



私の手で
母親のもとへ
送ってやろう

キヤッ

!!

.....

これで
お母さんの所に…

もうこれ以上
悪夢の中を
さまようことも…



舞香様は
いったい何を!?

会長…
早まられた事を!?

158



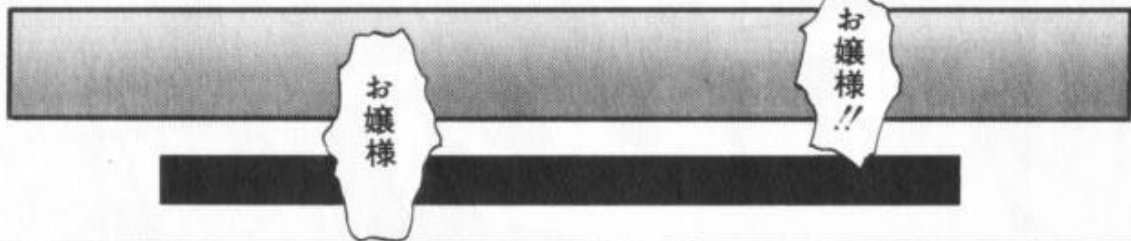
いやああ

!!











……ああ
5分だけなら
かまわないよ



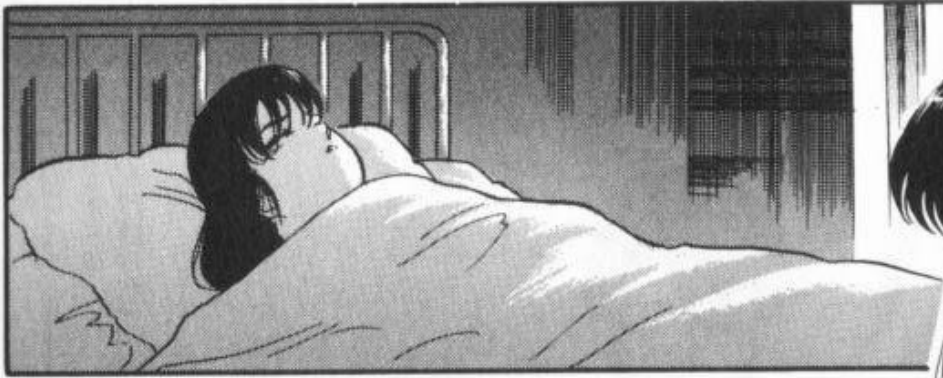
お願い
一目だけでいいの
会わせて……



……由美……お
お姉さん……



だいじょうぶ
3週間もあれば
退院できる



さようなら……





退院前日
舞香からの手紙が着いた



手紙の中には
一言だけ書かれていた

「お姉さん」……と

—End—

小悪魔の降る夜に

初出誌

コミックフラミンゴ(編集人・須賀静香, 三和出版・刊)

vol.7(平成元年11月), 9(平成2年1月)~15(平成2年7月)

アシスタント

多摩川大吉楼
藤田正太郎

スペシャルアシスタント

大米我渡

ドイツ語アドバイザー

西村悟



解説

海野やよい

——夜……。富秋先生の描く女の体には夜が似合う。それがたよりない間接照明の灯りでも、月の灯りでも、その微かな光源でよりいっそうの妖しさと、美しさがあふれだす。柔らかくうねる黒髪と確かな質感を持った肉体が、しっとりとした感触を持って描き出される。重ね合う少女たちの唇の柔らかさを想うとき、微かなとまどいとそして確かな胸の高鳴りを覚える。

『小悪魔の降る夜に』は読後感がいつもせつない。言葉でも体でも表わし切れない想いを抱くのだ。

一読者としての私は、年令も近いせいから『由美』に感情移入してしまう。

こんなことを言うと笑われてしまうかもしれないが、すぐれた作品に出会い、その登場人物に感情が入ってしまふと、SEXシーンなどで、不意にそのときの感覚がよみがえってしまったりする。そんな私なので、『由美』が『舞香』に舌を吸われたり、乳房を弄ばれたりするところを読むと、ふっと、指先からちからが抜けてしまったりする。

愛する人の言葉に逆らい切れない心と体。唇からはそれを拒む言葉が出てくるけれど、与えられる肉の喜びと、プレイが激しければ激しいほどに、その後の優しさが心をとらえて離さない。

由美が自らの言葉で語っている。

「引き返すことのできない迷路を進むかのように私は落ちてゆく——」

想い人として、姉として、妹として。入り交じった感情と、人間関係。それを描きあげる富秋先生の力量には脱帽してしまふ。SM官能であり、復讐劇でもある。その絡み合った人間関係とストーリーがこの作品の面白さの所以となっている。

下手なストーリーは、その作品を読み物としてつまらなくすると同時に実用にも適さないものにしてしまふ。反対にストーリーなどなくても、自分が興奮できるシチュエーションやプレイが一生懸命描かれていれば、それは必ず読み手にも伝わる。

その点、富秋先生の作品たちは、読み物としても、実用としても通用する素晴らしいSM漫画だ。私が富秋先生の作品たちを愛読する理由もそこにある。

ところで、この作品が『コミック・フラミンゴ』誌上に連載されていたころ、私はいつも「ファンレターを出そう！」と思っていた。そして思っているうちに次の号が出てしまうので、「これを読んだらきつと書くのだ！」と思いつつ半年ほど過ぎるともうお話は佳境に入ってしまう。「うーむ。しかたがないから、最終回を迎えた暁には絶対出すのだ！」と心に決めていたらこのような機会が巡ってきた。何という幸運。同じ雑誌で連載していた本当に良かった。

富秋先生ご本人はとても素晴らしい方で、優しく、穏やかで、回りの人に良く気を使われる。そんな人だからこそ、このような素晴らしい作品を描きあげることができのちにちがいない。女性読者も安心してファンレターなど気軽に出せば良い。

最後に、このような私に巻末を汚させていただく榮譽を与えて下さった富秋先生に感謝いたします。

SANWA COMICS
No.32

小悪魔の降る夜に

平成2年10月15日初版第一刷発行

定価880円(本体854円)

著者 富秋悠

発行人 浅田昌弘

発行所 三和出版株式会社

【営業】〒101東京都千代田区神田神保町1-7三光堂ビル5F ☎03-291-8911

【編集】〒101東京都千代田区三崎町3-6-14第2ハンタービル7F ☎03-237-1175

SANWA COMICS
No.32

小悪魔の降る夜に

平成2年10月15日初版第一刷発行

定価880円(本体854円)

著者 富秋悠

発行人 浅田昌弘

発行所 三和出版株式会社

【営業】〒101東京都千代田区神田神保町1-7三光堂ビル5F ☎03-291-8911

【編集】〒101東京都千代田区三崎町3-6-14第2ハンタービル7F ☎03-237-1175



小悪魔の降る夜に

